

【福島県天栄村】

1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末を始めとするICT環境整備によって実現を目指す学びの姿

第7次福島県総合教育計画により、予測が困難な変化の激しい社会において、生きて働く「知識及び技能」はもとより、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力を育むことが必要であり、このため、様々な教育活動の中で対面とオンライン、紙とデジタル等を組み合わせ、画一的な一方通行の授業等から個別最適化された学び、協働的な学び、探求的な学びへとICT活用などによる学びの変革を実現する。

主な取組として、1人1台端末の導入等を踏まえ、これまでの対面での教育とICTを取り入れた教育、紙・デジタル双方の良さを取り入れた個別最適化された学び、遠隔地や他校との交流も含めたつなぐ教育での学びを推進するとともに、ICTの利活用が学習や生活を豊にする反面、SNS等に起因するいじめや犯罪被害等が生じている状況を踏まえ、専門機関と連携しながら情報活用能力（児童生徒が情報手段を適切に活用できる力や自他の権利を尊重し、情報社会での行動に責任を持ち、危機を回避するなど情報を正しく安全に利用するための情報モラル等）を育成する。

2 GIGA第1期の総括

国のGIGAスクール構想の実現に向け、本村では、令和2年度に村立小中学校における通信ネットワーク及び1人1台端末を整備した。

また、1人1台端末が日常的な学びのツールとして、利活用を図るとともにデジタルドリル等を用いた個別学習など、様々な場面で活用することで、子供たちの学習意欲の向上及び学習環境の整備に努めた。

家庭学習については、ネットワーク環境が整っていない家庭に対して、モバイルWi-Fiの貸し出しを行い持ち帰り学習の推進を図った。

一方でICT活用については学校間、教職員間で差があることから、教職員向けのICT研修を充実させることでICT活用指導力の向上を図る。

3 1人1台端末の利活用方策

学びの変革を実現する上では、児童生徒1人1人の発達段階を考慮しながら、ICTを有効に活用し、個々の興味・関心・意見などを踏まえ、きめ細かく指導・支援する個別最適化された学びや1人1人の良い点や可能性を活かすことで異なる考え方が組み合わせより良い学びを生み出す協働的な学び、新たな価値を創造する深まりのある探求的な学びを実現することが重要である。

（１）１人１台端末の積極的活用

ＩＣＴ支援員による教職員向けのＩＣＴ研修を継続的に実施し、ＩＣＴ活用指導力の向上を図る。また、既に導入している指導者用デジタル教科書に加え、学習者用デジタル教科書等のデジタル教材の導入を検討する。

（２）個別最適・協働的な学びの充実

既に導入しているＡＩ学習ドリルの活用を促進することで「個別最適な学び」を推進し、子供たちが自ら学ぶ力を育成する。また、他市町村における事例を参考とし、より一層「協働的な学び」が充実するよう授業支援システム等の活用を推進する。

（３）学びの保障

他市町村における事例を参考とし、ＩＣＴを活用した学びの保障を実現する環境の整備に努める。

また、不登校の抜本的な対策として、１人１台端末を活用した非認知能力測定ツールを導入し、子供たちの悩みを可視化することで必要な支援を行い、不登校の未然防止に努める。

本村では、これらの取組みを推進するために、端末の整備・更新により、１人１台端末環境を引き続き維持する。